図書館だより　第３号　2021年７月 吉日　川俣高校図書館

夏休みも図書館は開いています！

クーラーを効かせて待っています。
３年生は勝負の夏ですよ！！

新刊コーナー

新しく入った本を紹介します。

書名	請求記号	書名	請求記号
はじめての哲学	100F	ざんねんな名言集	159M
世界の歴史　全20巻（漫画でわかりやすい！）	209S	オードリー・タンの思考	289O
ゲッチョ先生と行く　沖縄自然探検	291M	極アウトプット	361K
人は話し方が９割	361N	日本の給料&職業図鑑 Special	366N
みんな自分らしくいるための はじめてのLGBT	367E	親の期待に応えなくていい	367K
ヤングケアラーわたしの語り	367S	深掘り！中学数学	410S
16歳からの相対性理論	421S	飼育員さんのすごいこたえ	480A
14歳からの生物学	491S	壊れた脳と生きる	493S
こんにちは、いぬです　２	726J2	暗殺教室　16～21	726M
空の青さを知る人よ　４	726N4	「自分らしさ」と日本語	801N
17音の青春　2021	911K	アンデッドガール・マーダーファルス　３	913A3
わたしの幸せな結婚　２，３	913A	ミカンの味	913C
５分後に君とサヨナラのラスト	913E	彼女が花に還るまで	913I
晴れ、時々くらげを呼ぶ	913K	ぼくらが死神に祈る日	913K
雪のなまえ	913M	君と、眠らないまま夢を見る	913T

8月　夏休みの開館予定

夏休みの長期貸出受付けます！（～8/23）

日	月	火	水	木	金	土
１	２	３	４	~~５~~	６	７
８	~~９~~	１０	~~１１~~	~~１２~~	~~１３~~	１４
１５	１６	１７	１８	１９	２０	２１
２２	２３	**２４**	２５	２６	２７	２８

８　山の日
９　振休
１１～１３　学校閉庁日
24　始業式

夏休みだからこそ！本と向き合おう！！

若松英輔氏（東工大教授　2021.6.1 読売）の批評を紹介します。

緊急事態宣言の延長を受けて、この危機が私たちの社会生活だけでなく、内面にもとても大きな影響を与えているのではないかと感じています。自分は大丈夫と思っている人でも、実際は想像以上に傷ついている可能性がある。だから、一人で歩きだすのではなく、近しい人とともに歩き始めることを忘れない方がよいと思います。（中略）長い危機の経験で新しい人生のレッスンがあったとすれば、人に助けを請うことだったのではないでしょうか。それは自分の弱さを認めることでもある。（中略）

危機のときには古い言葉を読むことも大切です。この間、『論語』や『方丈記』など、いくつもの古典に出会い直しました。長く読み継がれたものは、戦乱や災害、疫病などの様々な危機のとき、人はどう生きられるかをめぐって、じつに豊かな知恵を宿しています。古典は安易な解答はくれません。しかし、深い問いを提示し、確かな地平に私たちを導いてくれます。

読むだけでなく、書くことも重要です。読むと書くは呼吸のような関係です。人は思ったことを書くと思い込んでいますが、じつは書くことで自分が何を思っているのかを知るのです。

最先端の科学はワクチンを開発し、危機と社会的に向き合う可能性を広げてくれました。しかし、ワクチンは人々の苦しみのすべてを癒すわけではありません。内なる希望を照らし出すのは、小さなしかし、確かな一つの言葉かもしれないのです。

★スマホを離れ、本とじっくり向き合う、そんな夏休みの過ごし方、高校時代にこそぜひお勧めします。図書館は、人間だけに許された貴重な「言葉」の宝の山です！（片平）